

経営比較分析表（令和6年度決算）

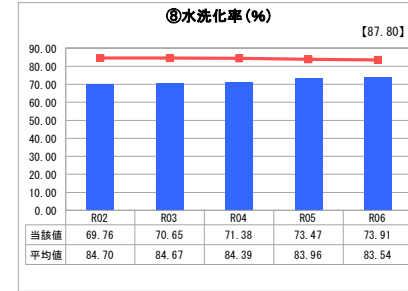
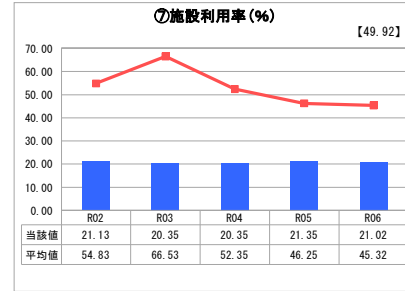
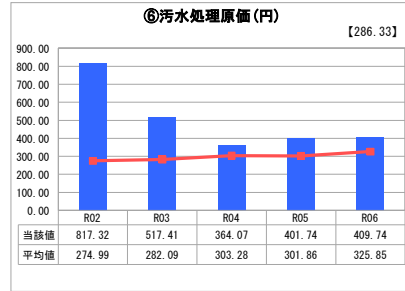
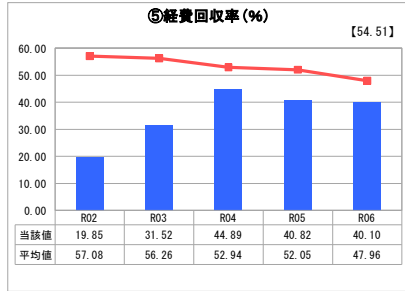
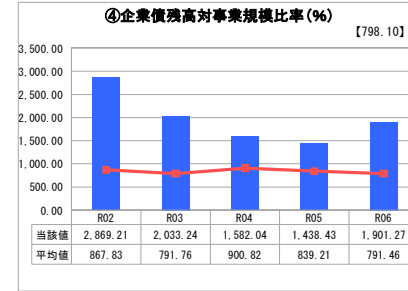
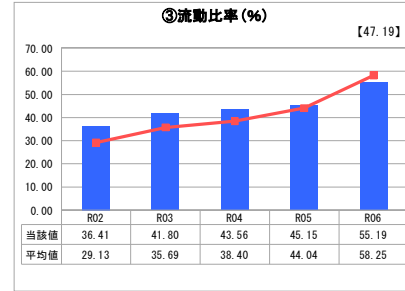
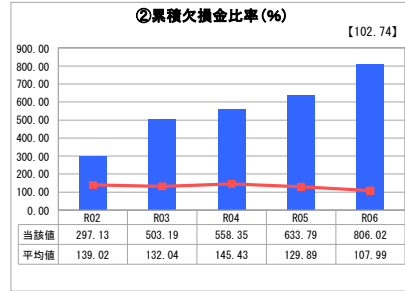
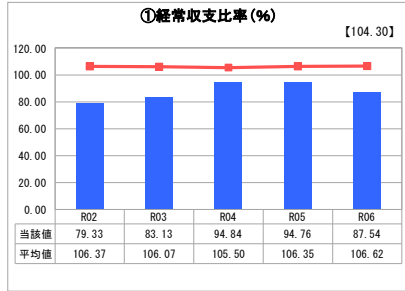
大分県 臼杵市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	59.19	3.39	117.33	2,920

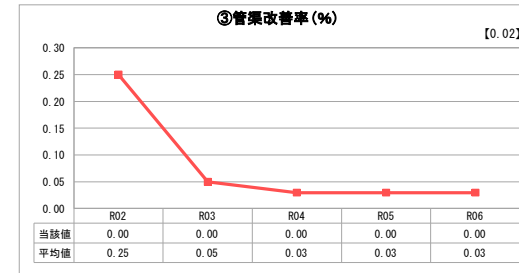
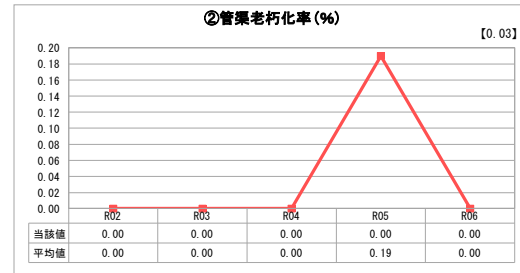
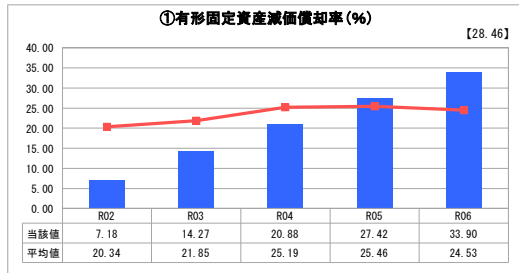
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
34,895	291.20	119.83
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,173	0.68	1,725.00

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 『経常収支比率』・・・100%を下回っているため、今後も経常経費の抑制、水洗化率の向上に努めます。
- 『累積欠損金比率』・・・接続推進を強化するとともに維持管理費等の経常経費の抑制に努めます。
- 流動比率・・・類似団体平均値をわずかに下回っていますが、今後も、現金預金の残高に注視するとともに企業債発行の抑制に努めます。
- 『企業債残高対事業規模比率』・・・企業債残高は減少傾向でしたが、令和6年度に事業を行ったことで増加しました。類似団体平均及び全国平均を大きく上回っています。
- 『経費回収率』・・・類似団体平均値及び全国を大きく下回っています。接続推進による使用料の増収や更なるコストの削減に努めます。
- 『汚水処理原価』・・・類似団体平均値を上回っているため、接続率向上による有収水量増加が図られるよう取り組みを強化します。
- 『施設利用率』・・・将来の汚水処理人口の減少を踏まえ、野津地域を特定環境保全公共下水道への施設統合の予定です。
- 『水洗化率』・・・少しずつ改善してはいますが、類似団体及び全国平均を下回っています。引き続き接続推進の強化を図る必要がありますが、人口が減少していくため大幅な数値の改善は厳しい見通しです。

2. 老朽化の状況について

- 有形固定資産減価償却率・・・有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを示す指標です。投資的事業を行ったため、全国平均及び類似団体平均を上回っています。
- 管渠改善率・・・法定耐用年数を超過した管渠延長の割合を表した指標で、管渠の老朽化度合いを示しています。管渠については耐用年数を超過しては、現状更新は行っていませんが、今後も効率的な経営を促進させるため、ストックマネジメントにおける施設の更新計画に沿って事業を進めるとともに、長期的な更新・維持補修の計画見直しを図っていきます。

全体総括

本市の農業集落排水事業は、今後、人口減少による使用料収入の減少や、物価高騰による営業費用の増加、施設の老朽化などが懸念されます。安定した事業運営を行っていくために、特に重要な自主財源である使用料収入を確保するため、未接続世帯の訪問などの活動を強化し水洗化率の向上を目指します。安定的な事業運営を行っていくために、令和8年度をめぐりに野津地域の農業集落排水事業を特定環境保全公共下水道事業と統合し、維持管理経費の削減に努めます。また、技術職員の減少による事業の衰退を防ぐためのW-PPPの検討や、臼杵地域の農業集落排水事業について、公共下水道事業との統合を検討し、施設のダウンサイジング化や維持管理費用の合理化などのスケールメリットを追求します。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。